大きな川が有つて、橋が架つてゐる。之を見ると、ミハイロ偉らく(えらく)吃驚(たまげ)てゐつさ。この大い(でか)川一杯に橋を架けるんべえ、と驚いたが、聞けば此橋は鐵で出来てると云ふ。飛んでもない！ 己(うら)を欺(かつ)がうと思つてからに。

「これが鐵どら、何處から持つて来さじんべえ？ 世界中買集めさとつて、こんねえ鐵の有る理窟ねえど」、と理詰めに一つ考へてみると。

橋を渡りかけて、一寸躊躇したのは、百姓のお

十ノ廿 松屋製